

都市におけるマンション開発の基本的視点・基本姿勢

1. 地域との共生、地元への貢献が理念の街づくり
2. 環境・景観との共生、既存樹木を生かした緑の街づくり
3. 企業市民としての社会的責任を果たす企業ビヘイビア

[1] マンション開発における基本的な考え方

● 地元へ歓迎されるマンションづくり

- (1) 地元住民の方々に理解され、喜ばれるようなマンションの開発
- (2) そのための地元住民との十分な話し合いが基本姿勢。「決して逃げない」

[2] 21 世紀は「マンションをつくること、良い環境をつくる」ことに

● 地域との共生、環境や景観とも共生する開発理念が起点

- (1) 地域共生・地元密着を図って、＜対立＞から＜共生＞へ
- (2) その町の環境や文化的景観にふさわしいマンションの開発
- (3) 企業が、「市民の敵」[社会の敵] となるような、地域や社会を敵視してはいけない

[3] 地域のもめごと、地元トラブルをなくすための「3つの基本動作」

(第1段階)「火のないところに煙は立たない」

つまり、キッカケはすべて企業側がつくったので、まず「100%、誠意を持って、相手（住民側）の言い分を十二分に聞く」ところから始まる。（もし、企業側に非があればすぐ認める）

(第2段階)「”企業の良心“でもって対応する」

住民側の言い分を十二分に聞いたら、企業側は道理に即した説明・交渉に入る。そのときに大切なことは、”企業の良心“である。

(第3段階)「(どちらか) 相手が悪いと、解決は遠のく」

それでも解決しない場合は、第3者の判断を仰ぐしかない。

[4] ゆたかな都市景観をつくっていくには、地域コミュニティの力が